



2026/
3・4月号

湖国が滋る・水と緑の街づくり

令和8年3月1日発行 通巻327号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602
 mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

CONTENTS

- 総務企画委員会 2
 令和8年度 通常総会のご案内
 令和8年 滋賀県建築関係団体
 合同年賀会 開催報告
- 青年委員会 対外事業
 「紙の力mini
 -こほくおしごとたいけん-」開催報告
- 青年委員会50周年記念事業 3
 研修旅行in東京・埼玉 開催報告
- 青年委員会
 「円満字流スケッチ講習～はがきサ
 イズで手軽に～」開催報告
- 女性委員会 4
 令和7年度 女性委員会主催全委員
 会議 報告
- 近畿建築士会協議会女性部会
 第12回 近畿の「魅力ある和の空間」
 巡行 in 京都 聴竹居(京都府乙訓
 郡大山崎町)見学会 参加報告
- まちづくり活動部会 5
 第19回木の建築賞 受賞者講演会
 いま、求められる木の建築・活動と
 は～滋賀の先駆者たちが語る～
 報告
- 総務企画委員会
 令和7年度 2級・木造建築士
 免許証明書交付式 開催報告
- まちづくり委員会 6
 第16回高校生の建築甲子園
 滋賀県立彦根工業高等学校が
 奨励賞に
- 第1回びわ湖建築賞審査会
- 地区だより 7
- 滋賀県建築士会PR動画 8
- 地区別会員数 ・新入会員紹介
- 3月、4月の暦

滋賀県建築士会ホームページはこちら➡
<https://www.kentikushikai.jp/>



シリーズ「ランドスケープデザインの古今」 第二回 金勝寺(こんしょうじ)

金勝寺は、標高604.7mの竜王山の頂上近くに佇む寺で、地元の人々は親しみを込めて、この山を金勝山(こんぜやま)と呼んでいます。聖武天皇の勅願により国家鎮護の祈願寺として、良弁僧正が開基(733)、のち、僧・願安が伽藍を建立したとされています。この寺は「苔寺」としても知られ、境内にはおよそ80種類もの苔が無為自然に大地や礎石を覆い積層しています。人の手が過剰に介入せず、人の動線は自然に従属し苔を踏み荒らさぬように導かれます。金勝寺の苔を主役とするランドスケープは、金勝山系の水、光、地形、植生が1300年もの時を重ねて作りだしたものであり、現在もなお育ち続ける庭園です。仏教信仰の下、人が自然に対して一步引くことからなる古典的で長期的なランドスケープがここにあります。経年変化を拒まず、静かに見守り受け入れること、空間設計の原点がここにあります。

総務企画委員会

令和8年度 通常総会のご案内

開催日：令和8年5月30日(土)

開催場所：びわ湖大津プリンスホテル

(滋賀県大津市におの浜4丁目7-7)

尚、詳細につきましては、決まり次第、別途ご案内を送付させていただきます。

令和8年 滋賀県建築関係団体合同年賀会 開催報告

令和8年1月8日(木)、近江八幡市のホテルニューオウミにて開催されました。出席者は来賓を含め約227名と大盛況でした。清々しい新春の中、和気あいあいとした盛会となりました。厚生労働大臣の上野賢一郎様もご臨席くださり来賓の挨拶を賜りました。令和9年は、びわ湖大津プリンスホテルでの開催予定です。



五団体長集合



乾杯で祝宴スタート

青年委員会 対外事業

「紙の力mini-こほくおしごとたいけん-」 開催報告

令和7年11月1日(土)、長浜市さざなみタウンにて長浜商工会議所主催の長浜ものづくりTECH2025「こほくおしごとたいけん」に出展いたしました。例年滋賀県内の小学校で行っている出張授業である「紙の力」の体験を地域のイベントに参加することで建築士のことをより広く広める取り組みとなります。

当日は13組21名の児童と保護者13名の計34名の方に参加していただけたとともに異業種も含め広く建築士会の取り組みを広められたのではないかと思います。親子で参加された方はものづくりを通して親子のコミュニケーションの場にもなったのではないのでしょうか。イベントにおいても参加者数延べ2,900名と大勢の方にご参加いただきました。

今後も次世代の建築士増員を目指してこのようなイベントに参加していければと存じます。長浜商工会議所青年部の方々におきましては色々ご配慮いただきありがとうございました。



紙の力 実験準備中

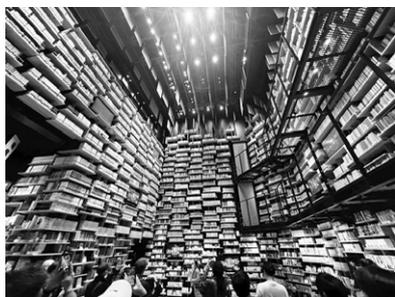


紙の力 実験中の子供たち

研修旅行in東京・埼玉 開催報告

令和7年11月28日(金)から29日(土)に、17名の参加者と、東京・埼玉方面への研修旅行を行いました。28日には、10月に開催した滋賀建築士会青年委員会発足50周年記念講演「未来を築く技術：AI・ロボティクスの可能性」でご協力いただいた大林組技術研究所にて研究施設や先進的なオフィス環境を視察見学させていただきました。講演会で登壇いただいた坂上氏、中林氏と共に3Dプリンター建築物3Dpod、設計支援ソフトAICorbについても実際に触れさせていただき、新しい建築技術や材料が生まれる現場を体感し、記念講演と合わせてより深く理解することができました。夜は東京建築士会の方も迎えてフグ料理をいただきながら参加者の懇親を深めました。

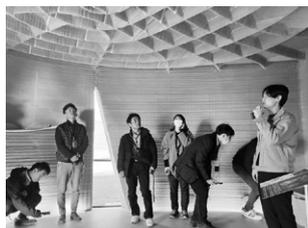
29日には角川武蔵野ミュージアム及び、ところざわサクラタウンの株式会社KADOKAWAのオフィス視察見学をさせていただきました。隈研吾建築都市設計事務所の渡邊氏にご案内いただき、建築計画の始まりから、建物の外観、内部の設計の意図や納まりの難しかったところ等、細かにご説明いただきました。お世話になりました見学先の皆様には当日までの調整や、当日の案内の際もとてもお気遣いいただき、新しいデザイン、機能の建築に触れる機会となりました。



圧巻の本棚劇場



角川武蔵野ミュージアムにて



3Dプリンター建築物内部見学



隈研吾建築都市設計事務所
渡邊氏の解説

「円満字流スケッチ講習～はがきサイズで手軽に～」 開催報告

令和7年12月7日(日)、ヴォーリズ建築や近江商人の伝統的な街並みが保全されている近江八幡旧市街にて開催しました。前半は近江八幡市立資料館内にて円満字流のスケッチ実演を行っていただき、後半は街に繰り出し、各々が気になった建物や風景をひとり3枚描いていただきました。その後、資料館にてひとり1枚ずつ気に入った作品をプロジェクターに映し出しながら、講師による講評をしていただきました。円満字先生の講評は、参加者それぞれのスケッチの良い点を的確に捉えつつ、時にユーモアを交えた楽しい内容で、参加者が自分の作品に自信と愛着を持てるような大変印象深いものでした。

当日は天候にも恵まれ、参加者の皆さんが終始楽しみながらスケッチに取り組み、大変有意義な研修事業となりました。



円満字流スケッチの実演



まちへ繰り出しスケッチ中



円満字先生を囲んで集合写真

女性委員会

令和7年度 女性委員会主催全員会議 報告

令和7年12月13日(土)大津市本堅田にて開催し、19名の方にご参加いただきました。

まず堅田観光協会会長で建築士会員の八軒氏の案内でまち歩きを行いました。最初にヴォーリズ建築の魅力を伝える堅田教会へ立ち寄り、次に湖族の郷資料館で堅田湖族の歴史を八軒氏に解説いただきました。続いて近江八景「堅田の落雁」で名高い浮御堂を拝観、湖畔の道を歩き、最後に居初家・天然図画亭を訪れ、縁側に座り手入れの行き届いた庭を眺めて心が和むひと時を過ごしました。城山三郎や三島由紀夫など多くの作家の作品の舞台となった堅田の町。歴史と風情ある町並みを十分に味わうことができました。

まち歩きのあとは、福谷会長、湖西滋賀地区松井代表にご臨席頂き全員会議を行いました。事業報告と次年度に向けての活動目標を述べ、参加者の方々から意見を頂戴しました。

次年度は新たな体制で委員会活動を行ってまいりますので引き続きご協力お願いいたします。



浮御堂 楼門にて



PPTで事業報告

第12回 近畿の「魅力ある和の空間」

巡行 in 京都

聴竹居(京都府乙訓郡大山崎町)

見学会 参加報告

主催・企画 / 近畿建築士会協議会女性部会

令和8年1月24日(土)、見学者24名で開催されました。滋賀からは4名が参加しました。

「聴竹居」は、藤井厚二が昭和3年に建築した第五回自邸で、平成29年には昭和に建てられた建築家の自邸で初の重要文化財に指定された住宅です。聴竹居倶楽部の方のご案内のもと、3グループに分かれて、母屋である「本屋」、離れ兼仕事場「閑室」、茶室「下閑室」それぞれの建物内部を見学したのちに、一般社団法人 聴竹居倶楽部 代表理事の松隈 章氏から『建築環境工学の礎を築いた建築家・藤井厚二と100年前の最先端住宅「聴竹居」』と題してご講義いただきました。

「聴竹居」は、和風、洋風それぞれの長所を取り入れ、日本の環境風土に適応した住宅であり、かつ「住宅は愉快なものである」という理想を追求した住宅であったこと、また、竹中工務店が所有し重要文化財指定を受けたのちに、大阪北部地震や台風21号の災害復旧工事、茶室を全解体し保存復旧工事をされたときの話なども興味深くお聞きしました。今回の見学だけでは物足りないと思うほど見ごたえのある、多くの感動を味わった見学会となりました。



本屋 南側中庭にて集合写真



玄関前の石像 伊東忠太デザイン

まちづくり活動部会

第19回木の建築賞 受賞者講演会 いま、求められる木の建築・活動とは ～滋賀の先駆者たちが語る～ 報告

令和7年12月5日(金)、木育施設しがモックにて開催しました。森林・木材・建築に関わる全国の実力ある実践者が応募し、その中から優秀な木の建築・活動を顕著する「木の建築賞」とあって、募集人数を超える参加があり関心の高さを感じました。

会場のしがモックは、びわ湖材を用いて木質化された内装、木製遊具・玩具との触れ合いを通して「木」の良さ、利用意義を学ぶ木育のハブ施設です。設計者宮村太氏、共催：滋賀県からはびわ湖材流通推進課西井洋平氏に施設解説していただきました。講演会は「木」と触れ合う床座スタイルとしました。

講演会は3部構成、第1部は、受賞3作品、ムクファースト崇秀記念賞 滋賀県林業会館、木の活動賞 農業と福祉の拠点「あるきだす」、選考委員特別賞 皇三重ノ塔、を各受賞者、宮村太氏（湖西滋賀）、木村敏氏（大津）、川端眞氏（大津）に解説いただきました。第2部は、高島市森林組合長清水安治氏をファシリテーターに鼎談トークショーを、第3部は、参加者と交流クロストークを行いました。滋賀の先駆者たちの知識と造詣の深さは素晴らしく、「木の建築」に対する三者三様の関りは興味深く、詳細に素直にお話しいただく姿勢は愛嬌があって、人としても魅力ある先駆者たちでした。



床座で気楽に



滋賀の先駆者たち、宮村氏、木村氏、川端氏

総務企画委員会

令和7年度 2級・木造建築士 免許証明書交付式 開催報告

令和8年2月7日(土)、滋賀県建設会館4階大会議室にて、本会の主催で開催しました。県内を中心に34名の出席がありました。福谷会長より代表者2名に免許証明書が交付されました。新建築士の旅立ちに向けて、滋賀県土木交通部建築課課長宗像幸夫氏より祝辞を賜り、滋賀県土木交通部建築課主査寺田直樹氏より「建築士のとびき」をもとに建築士の心構えをご説明頂きました。また、建築課参事福井嘉昭氏からは、能登半島地震の実際を踏まえて応急危険度判定制度と判定士の必要性について説明がありました。式典後は、滋賀県建築士会への入会をすすめるPR動画の上映、青年委員会、女性委員会による活動や事業の紹介をし、入会の案内をさせて頂き、2名の方に入会申込書をご記入いただきました。入会の承認は3月の理事会での予定です。

2級建築士学科：100/226(名) 製図：79/154(名)
木造建築士学科：23/48(名) 製図：22/27(名)
※合格者数/県内実受験者数



二級建築士免許交付



木造建築士免許交付



連合会古谷会長ビデオメッセージ



話を聞く免許交付者



応急危険度判定士の説明



女性委員会より活動紹介

まちづくり委員会

第16回高校生の建築甲子園 滋賀県立彦根工業高等学校が奨励賞に

全国79校より157作品の応募があり実施された令和7年度の「高校生の建築甲子園」で、滋賀県立彦根工業高等学校の作品「美和心楽 ～美しい和室を地域の人と琵琶湖と共に楽しむ～」が奨励賞を受賞されました。1月23日に彦根工業高等学校を訪問し、賞状等の授与・伝達を行いました。おめでとうございます。滋賀県予選で審査委員長をつとめて頂きました滋賀県立大学環境建築デザイン学科准教授轟慎一様より次の通り講評を頂きました。

審査委員長：講評

課題点はあるものの、多彩なアイデアが盛り込まれ、「建築する楽しさ」がフレッシュに感じられる作品である。建築を志す生徒としての好奇心・意欲が伝わってくる作品であり、これからの可能性に期待します。

第1回びわ湖建築賞審査会

本年度新たに始まった第1回びわ湖建築賞には27作品（一般部門14作品、住宅部門13作品）の応募があり、一次審査と二次審査が行われました。

公開プレゼンテーションの一次審査は令和8年1月16日、びわ湖大津館において開催され、応募者による熱心なプレゼンテーションに対して、古谷誠章審査委員長（日本建築士会連合会会長）をはじめ7名の審査委員の鋭い質疑と応答がありました。その後にあった審査会も含めてすべてが公開で行われたため、参加者にとって学びの多い会となりました。

総評で古谷審査委員長は、「滋賀独特の景観、環境と対話すると建築はどうなるのか、応募作からは設計者が真摯にそれと向き合う姿が読み取れた。滋賀には東西南北多様な風土があり、それを表現するバリエーションに富んだものであった」と評価されました。

この一次審査で各部門5作品、計10作品が選出され、現地審査となる二次審査へ進みました。

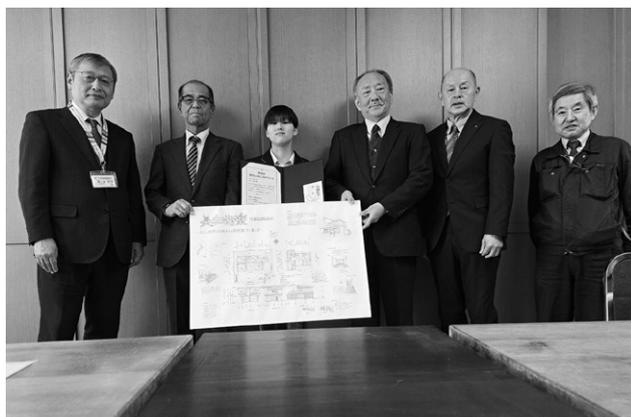
二次審査会は2月21日と22日に開催され、審査結果は5月の本会総会にて発表されます。



賞状を授与



公開による一次審査



彦根工業高等学校 受賞者・先生と



審査委員との質疑応答

高島地区

名建築を巡る研修旅行

令和7年12月7日(日)、8日(月)、香川県丸亀、高松市へ11名で研修旅行をおこないました。楽しみにしていた猪熊源一郎美術館はまさかの臨時休館で見学できませんでしたが、地区会員の友人である香川県建築士会会員のアテンドのもと、二日間にかけて旧香川県立体育館、香川県庁、あなぶきアリーナ、やしまーる、四国村ギャラリーと昭和から令和までの名建築をめぐることができました。懇親会にも参加いただき、他県の建築士会員との交流も図れ、今回も充実した研修旅行となりました。



旧香川県立体育館 船の体育館前にて

甲賀地区

KOKA Archi Class vol.3と賀詞交歓会

令和8年1月19日(月)に研修事業「KOKA Archi Class vol.3」～はじめてのChatGPT：ビジネスで活かすAI活用術～を甲賀市商工会建設部会、滋賀県建築士事務所協会甲賀支部との共同事業にて甲賀市「まるーむ」で開催しました。受講者30名。(株)日本ビコム塚田修司氏を講師に迎え、スマホにChatGPTを入れ、次に…というところから講習いただき、加えて「AIとは」「取扱い注意点」等を伺い心配なく新ツールに触れることが出来ました。各自の今後の活用が楽しみです

令和8年1月23日(金)には水口町「ふじ吉」にて、会員・賛助会員が参集し賀詞交歓会を開催。31名に加え、福谷会長にもご臨席いただき祝詞を頂戴しました。



丁寧な説明で心配を払拭



福谷会長より祝詞を頂戴

大津地区

避難所開設に伴う被災建築物 応急危険度判定に係る訓練

令和7年12月25日(木)、大津市と(公社)滋賀県建築士会大津地区委員会、同湖西滋賀地区委員会、(一社)滋賀県建築士事務所協会大津支部の共催で「避難所開設に伴う被災建築物応急危険度判定に係る訓練」が開催されました。この日の訓練では、巨大地震・大地震発生時において、避難所開設の可否をより円滑に判断できるよう、机上訓練(応急危険度判定の調査方法に関する講習会)と実地訓練(建物を利用した応急危険度判定の模擬判定)が行われました。大津市において応急危険度判定に特化した訓練が実施されるのは今回が初めてとなります。



応急危険度判定の講習



避難所での応急危険度判定訓練

湖北地区

三会合同新年会 開催

令和8年1月30日(金)、湖北地域会、同賛助会、長浜建築施工管理技士会三会合同新年会を開催いたしました。降雪の影響を心配しておりましたが、全78名の方にご参加いただき、長浜市長、米原市長、福谷会長から祝辞を頂戴しました。また余興としてビンゴ大会も企画し、大変賑やかに過ごしていただきました。無事閉会し最後は笑顔でお見送りさせていただきました。

関係各所でお手伝い頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。



新年会会場



ビンゴ大会景品

滋賀県建築士会PR動画をHPで公開中
下記QRからもご覧になれます。

建築士会入会のご案内



建築士会活動の紹介



建築士会のことを分かりやすく楽しくPRしています。
日々の活動の中で有効にご活用ください。

地区別会員数 令和8年2月1日現在

地区	12月	2月	差引
大津	158	157	▲1
湖南	110	109	▲1
甲賀	65	63	▲2
湖東	81	81	0
彦根	64	64	0
湖北	111	111	0
高島	52	52	0
湖西滋賀	23	23	0
計	664	660	▲4

3月の暦

1日 先勝	17日 火 大安
2日 友引	18日 水 赤口 四役会・理事会
3日 先負	19日 木 友引
4日 水 仏滅 四役会・四役委員長会議	20日 金 先負 春分の日
5日 木 大安	21日 土 仏滅
6日 金 赤口	22日 日 大安
7日 土 先勝 近建女事業「くらしとすまいをみつめる継続セミナー」	23日 月 赤口
8日 日 友引	24日 火 先勝
9日 月 先負	25日 水 友引
10日 火 仏滅	26日 木 先負
11日 水 大安 定期講習・監理技術者講習	27日 金 仏滅 防災委員会
12日 木 赤口	28日 土 大安
13日 金 先勝	29日 日 赤口
14日 土 友引	30日 月 先勝
15日 日 先負	31日 火 友引
16日 月 仏滅	

4月の暦

1日 水 先負	16日 木 赤口
2日 木 仏滅	17日 金 先負
3日 金 大安	18日 土 仏滅
4日 土 赤口	19日 日 大安
5日 日 先勝	20日 月 赤口
6日 月 友引	21日 火 先勝
7日 火 先負	22日 水 友引
8日 水 仏滅	23日 木 先負 令和7年度「事業・会計監査」
9日 木 大安	24日 金 仏滅
10日 金 赤口	25日 土 大安
11日 土 先勝	26日 日 赤口
12日 日 友引	27日 月 先勝
13日 月 先負	28日 火 友引
14日 火 仏滅	29日 水 先負 昭和の日
15日 水 大安 四役会・理事会・理事予定者会議	30日 木 仏滅

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止・変更等となる場合がございます。

金勝寺 (こんしょうじ)

金勝寺 境内。日照で濃淡が付いているのではなく、苔の種類の違いによって見事なコントラストが来ています。手前がジャゴケ、奥がヒノキゴケ。苔むす参道を登りつめると仁王門、そして一段高く正面に本堂、その手前右に二月堂が建立されています。本堂の左側虚空蔵堂には木造虚空蔵菩薩半跏像が安置され、広大な知恵と福德のある菩薩「十三詣りの仏」として信仰されています。

